



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 スクロール

コード番号 8005 URL <https://www.scroll.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 堀田 守

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営統括部長 (氏名) 杉本 泰宣 TEL 053-464-1114

四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	21,996	13.8	2,592	128.6	2,631	120.9	1,834	131.6
2020年3月期第1四半期	19,333	1.0	1,134	△0.3	1,191	4.4	792	5.4

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 1,844百万円 (163.5%) 2020年3月期第1四半期 700百万円 (△8.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	53.14	—
2020年3月期第1四半期	23.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
2021年3月期第1四半期	49,079		23,138		47.1	
2020年3月期	43,270		21,462		49.6	

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 23,115百万円 2020年3月期 21,440百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	7.50	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	75,000	3.3	3,400	58.5	3,500	52.4	2,000	184.2	57.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	34,818,050株	2020年3月期	34,818,050株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	296,372株	2020年3月期	303,072株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	34,519,690株	2020年3月期1Q	34,285,594株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、〔添付資料〕3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算説明資料は、2020年7月31日に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行拡大による経済活動の急速な収縮により、景気は後退局面に入り、先行きが極めて不透明な状況となりました。小売業界におきましては、4月に発令された緊急事態宣言により営業時間の短縮や営業の自粛が要請されるなど、厳しい経営環境となっております。通販業界におきましては、外出自粛に伴う購買行動の変化によりEC・通販の利用は増加している状況であります。業態を越えた競争の激化や、物流コストの上昇など、厳しい経営環境が続くものと思われま

す。このような事業環境のなか、当社グループは、「収益力のあるDMC (Direct Marketing Conglomerate) 複合通販企業戦略の推進」を方針とし、主力である通販事業の収益最大化及びソリューション事業の成長に向けた施策等に取り組んでまいりました。なお、就業環境につきましては、新型コロナウイルス感染症への対策として、グループの行動基準計画に則り、拠点ごとの感染警戒レベルに応じて在宅勤務体制へ柔軟に変更するなど、従業員やお取引先関係者の安全と健康を最優先に考えた事業運営を行っております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高21,996百万円（前年同四半期比13.8%増）となりました。利益面におきましては、営業利益2,592百万円（同128.6%増）、経常利益2,631百万円（同120.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,834百万円（同131.6%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

前連結会計年度まで、7つの報告セグメントにて事業を展開してまいりましたが、このうち「海外事業」セグメントにて実施しておりました、ASEANにおける取引先の新規開拓やグループ商材の販路構築機能を、当第1四半期連結会計期間より、「通販事業」及び「グループ管轄事業」セグメントに移管し、6つの報告セグメントへと変更しております。以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報)」をご参照ください。

なお、セグメント別の売上高は連結相殺消去後の数値を、セグメント利益又は損失は、連結相殺消去前の数値を記載しております。

① 通販事業

通販事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛の意識の高まり等に伴い、売上が増加しております。このようななか、商品調達方法の見直しによる原価率の低減や、効率的なカタログ配布による販促費率の低減に取り組むなど、事業効率の向上による収益の最大化を推進しております。

以上の結果、売上高は12,041百万円（前年同四半期比20.2%増）となり、セグメント利益は2,209百万円（同115.2%増）となりました。

② ソリューション事業

ソリューション事業におきましては、今後更なる拡大が見込まれるEC・通販市場において、事業者へ提供するソリューションメニューを拡充するべく、物流代行等のフルフィルメントサービスの対応力強化や決済代行サービスのメニュー拡大に取り組んだことに加え、アフィリエイトをはじめとするメディア事業の強化を図ってまいりました。また、5月には茨城県つくばみらい市の新物流センター「SLCみらい」の稼働を開始いたしました。最大消費地である関東圏における大型物流センターの保有を強みに新規顧客獲得に向けた営業活動に注力し、全国通販3PL戦略を推進しております。

以上の結果、売上高は4,471百万円（同30.0%増）となり、セグメント利益は263百万円（同205.3%増）となりました。

③ eコマース事業

eコマース事業におきましては、実店舗の休業や外出自粛に伴う在宅率上昇の影響で消費者のEC利用率が増加するなか、「巣ごもり消費」による需要を捉えた商品提案に取り組みました。また、カテゴリNo.1のECサイトを運営するグループ各社において、それぞれが独自性のある商材を提供するとともに販促活動の効率化を追求し、収益力強化に向けたビジネス基盤の構築に注力しております。

以上の結果、売上高は4,776百万円（同0.4%増）となり、セグメント利益は108百万円（同11.7%増）となりました。

④ 化粧品事業

化粧品事業におきましては、店舗休業や外出自粛、インバウンド客の大幅減少が、国内外の卸事業の業績に多大な影響を及ぼしました。一方、インターネットを中心とした直販事業では、会員顧客を中心とした販売強化に努めるとともに、顧客基盤の構築を進めております。

以上の結果、売上高は704百万円（同22.6%減）となり、セグメント利益は7百万円（前年同四半期はセグメント損失90百万円）となりました。

⑤ 旅行事業

旅行事業におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による国内の旅行自粛や海外からの入国制限などが、業績に多大な影響を及ぼしました。

以上の結果、売上高は2百万円（前年同四半期比99.0%減）となり、セグメント損失は37百万円（前年同四半期はセグメント損失10百万円）となりました。

⑥ グループ管轄事業

グループ管轄事業におきましては、当社グループの物流オペレーションや自社保有物流施設等の不動産賃貸を行っております。

以上の結果、売上高は2百万円（前年同四半期比5.2%増）となり、セグメント利益は103百万円（同34.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は49,079百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,808百万円増加いたしました。この主な要因は、売上高の増加に伴う売掛金の増加、建物及び構築物の増加によるものであります。

(負債)

負債は25,940百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,131百万円増加いたしました。この主な要因は、有形固定資産の取得等に伴う未払金の増加によるものであります。

(純資産)

純資産は23,138百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,676百万円増加し、自己資本比率は47.1%（前連結会計年度末は49.6%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年5月8日の「2020年3月期 決算短信」で公表いたしました2021年3月期の通期の連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（2020年7月31日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,828	4,317
売掛金	9,577	14,566
たな卸資産	8,390	8,536
その他	4,485	4,233
貸倒引当金	△305	△335
流動資産合計	26,976	31,317
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,895	7,588
土地	5,520	5,520
その他(純額)	3,282	1,069
有形固定資産合計	12,698	14,178
無形固定資産		
のれん	171	160
その他	788	843
無形固定資産合計	959	1,004
投資その他の資産		
その他	2,871	2,828
貸倒引当金	△235	△249
投資その他の資産合計	2,636	2,579
固定資産合計	16,294	17,761
資産合計	43,270	49,079
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,561	3,303
短期借入金	100	100
未払金	11,691	14,924
未払法人税等	395	801
引当金	321	165
その他	1,007	916
流動負債合計	16,077	20,211
固定負債		
長期借入金	4,375	4,350
引当金	82	80
退職給付に係る負債	1,180	1,205
その他	94	92
固定負債合計	5,731	5,728
負債合計	21,808	25,940

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,005	6,005
資本剰余金	6,657	6,657
利益剰余金	8,662	10,324
自己株式	△169	△167
株主資本合計	21,155	22,819
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	219	266
繰延ヘッジ損益	61	29
為替換算調整勘定	4	0
その他の包括利益累計額合計	285	295
新株予約権	21	23
純資産合計	21,462	23,138
負債純資産合計	43,270	49,079

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	19,333	21,996
売上原価	12,020	13,430
売上総利益	7,312	8,566
販売費及び一般管理費	6,178	5,973
営業利益	1,134	2,592
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	20	18
為替差益	16	15
その他	23	8
営業外収益合計	65	46
営業外費用		
支払利息	5	5
その他	2	2
営業外費用合計	8	7
経常利益	1,191	2,631
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	7	0
特別損失合計	7	0
税金等調整前四半期純利益	1,184	2,631
法人税、住民税及び事業税	316	766
法人税等調整額	75	30
法人税等合計	391	796
四半期純利益	792	1,834
親会社株主に帰属する四半期純利益	792	1,834

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	792	1,834
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△37	46
繰延ヘッジ損益	△56	△32
為替換算調整勘定	2	△4
その他の包括利益合計	△92	10
四半期包括利益	700	1,844
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	700	1,844
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	通販事業	ソリュー ション 事業	eコマース 事業	健粧品 事業	旅行事業	グループ 管轄事業	計		
売上高									
外部顧客への 売上高	10,019	3,438	4,757	909	205	2	19,333	—	19,333
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	23	565	34	△3	0	705	1,325	△1,325	—
計	10,043	4,004	4,792	906	205	707	20,659	△1,325	19,333
セグメント利益 又は損失(△)	1,026	86	97	△90	△10	76	1,185	5	1,191

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額には、未実現利益等5百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	通販事業	ソリュー ション 事業	eコマース 事業	健粧品 事業	旅行事業	グループ 管轄事業	計		
売上高									
外部顧客への 売上高	12,041	4,471	4,776	704	2	2	21,996	—	21,996
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	32	649	185	18	—	862	1,748	△1,748	—
計	12,073	5,121	4,961	722	2	864	23,745	△1,748	21,996
セグメント利益 又は損失(△)	2,209	263	108	7	△37	103	2,654	△22	2,631

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額には、未実現利益等△22百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第1四半期連結会計期間において、新物流センター「S L Cみらい」の稼働開始等により、前連結会計年度の末日に比べ、当第1四半期連結会計期間の末日の報告セグメントの資産の金額は、「ソリューション事業」において6,326百万円増加しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、従来、「海外事業」に含めていた海外子会社3社を「グループ管轄事業」へ、「海外事業」に含めていた機能を「通販事業」へ報告セグメントを変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。